

# 各校の取組の様子

## 白石小学校

11月、学習発表会がありました。「みんなが主役の学習発表会」のテーマのもと、どの学年も素晴らしい発表で、一人一人のこれまでの頑張りや成長を感じました。特に6年生は、発表の内容をすべて自分たちで考え練習に取り組んできました。最高学年である自分たちが下級生や保護者に伝えたいメッセージ。しっかり自分たちの言葉で伝えることができていました。



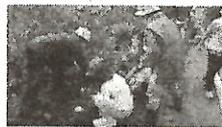
## 南白石小学校

令和6年度より行っている「地域学校協働実施推進事業」を本校では「みなしろマイスター」と呼んでおります。メンバーは町内会長や本校の元PTA会長等で構成しております。2年目となり、活動内容を広げてる中、学期に1回昼休み時間を延長し休み時間を30分（ロング休み時間）としました。昔遊びやポッチャ等児童が楽しめるものを用意し、PTAの役員の方の協力をいただきました。夏休み前の7月には「盆踊りを体育館で」を実施予定でしたが暑さのため中止としました。このイベントの趣旨は「自己選択」と「自己決定」です。用意されたもので遊ぶもよし遊ばぬもよし。自分で選択して自分で決定できるので教室で友達と話したり図書館で本を読んだりしてもよいのです。実施後、児童から次にやりたいことをアンケートで実施し、児童のアイデアを取り入れていきたいと思っております。



## 本郷小学校

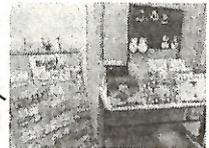
本郷小学校では総合的な学習の時間は、地域の方との触れ合いを大切に活動しています。3年生では、こころどいの花壇にお花を植えたり、お世話をしたりする活動を地域のボランティアの方にご協力いただいております。4年生では、一人暮らしのお年寄りと音楽を通じた交流を、5、6年生では、本郷商店街の魅力を伝えるチラシを作成し地域で配ったり、店舗で職業体験をさせていただいたりしています。地域の人々に支えられ、子どもたちにとって学びの多い活動ができています。



## 南郷小学校

いつからか子どもたちの「読書離れ」が指摘されるようになってきました。そこで本校では、「読書」に関わる様々な取組を行っています。教師による『読み聞かせ放送』や開放図書館の司書さんや保護者・地域ボランティアの方々による『朝の読み聞かせ』は、読書へのきっかけをつくるのに大いに貢献しています。また、秋には選書会を行い、高学年の子どもたちが書店に並ぶ本を直接手に取り、読みたい本を自ら選ぶことで読書意欲の向上を図っています。さらに、『読書通帳』を配付し、読んだ本を記録していくことで、一人一人が自分で読書計画を立てられるようになることを期待しています。

登校後に「朝の読書」の時間をとっていますが、多くの子が落ち着いて真剣に本を読んでいます。このような本(図書館)を介した連携が少しずつ子どもたちの姿にも現れ、読書の充実と同時に、読書への関心を高めています。



## 白石中学校

白石中学校の2年生は、毎年職場体験学習を行うことになっています。今年は、25の事業所に分かれ、それぞれ職場体験を行いました。



動物専門学校でのトリミングの体験や消防署での訓練の体験以外に、マクドナルドや幼稚園や保育園などでの体験学習を行いました。



どの事業所においても生徒たちは一生懸命に取り組み、充実した機会となりました。

今回の学習が将来の進路選択に生きるよい機会となったのではないのでしょうか。

コロナ禍が過ぎさり、子供たちが生き生きと活動する姿を見る度、制限をかけることなく教育活動が行えることは本当に素晴らしいことだとつくづく感じます。

また、この白石中学校区青少年健全育成協議会の皆様と直接会い、交流できるのも本当にうれしく思います。

今後も、学校と地域が連携しながら児童生徒を育ていけるようつながりを大切にしていきたいと思っております。地域の皆様の御協力もよろしくお願いいたします。